大豊工業 2016-2020年環境取り組みプランの振り返り

第6次プラン

当社では、2005年から環境活動における5か年計画を「取り組みプラン」と位置付けています。
2016年から2020年では、「低炭素社会の構築に向けた取り組み」を中心に、「水インパクトの最小化」や「自然共生活動」といった新しい分野の活動も推進してきました。同時に、経営のグローバル化に合わせ、大豊グループ全体の環境活動もグローバルに展開してきました。

	5か年の目標	成果
低炭素社会の構築に 向けた取り組み ISO14001認証取得した 1998年から活動を継続中	・自動車燃費向上に 貢献する製品開発 ・生産活動における 省エネ活動の徹底	■細溝軸受を新開発■電動化部品を新開発■環境貢献量の算出・開示■スマートラインの開発■プラント動力源の最適化 (工場で使用するエアー)
		≪実績値はP24、P25参照≫
循環型社会の構築に 向けた取り組み 2005年から継続、水の取り 組みは2016年から実施	・循環型社会の構築・水インパクト最小化	■産業廃棄物の発生量削減 ■水リスクの高い地域の拠点に おけるインフラ整備、管理強化
		≪実績値はP25参照≫
環境保全と 自然共生社会の構築 (2016年から実施	・自然共生社会づくり (生物多様性の保全)	■湿地保全活動の取り組み開始
環境経営 ISO14001認証取得した 1998年から活動を継続中、 取り組みは5か年毎に見直し	・マネジメント (グローバル体制構築)	■環境異常・苦情の未然防止 ■グローバル管理化の構築 ・温室効果ガス ・化学物質規制対応 ■情報開示の継続 ■ISO14001:2015への対応

バキュームポンフ

CO2削減量(貢献量)



環境対応製品のラインナップと貢献量の推移



新規に取り組んだ湿地保全活動